

平成30年第7回

仙北市教育委員会定例会会議録

平成30年5月24日

仙北市教育委員会

平成30年第7回 仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 平成30年5月24日（木） 午前9時25分

2 場 所 角館庁舎西側庁舎2階 第3会議室

3 出席委員

教育長	熊谷 徹
教育長職務代理者	安部 哲男
委員	坂本 佐穂
委員	橋本 勲

4 出席した事務局職員

教育部長	戸澤 浩
教育次長	浦山 英一郎
教育次長兼教育総務課長	
兼田沢湖学校給食センター所長	
兼西木学校給食センター所長	浅利 美智子
北浦教育文化研究所長	三浦 政喜
角館学校給食センター所長	千葉 幸仁
生涯学習課長	佐々木 幸美
田沢湖公民館長	真崎 智明
角館公民館長	佐々木 勇人
西木公民館長	保坂 博明
市民会館長兼田沢湖図書館長	高橋 徳夫
学習資料館・イベント交流館長	富岡 美津子
スポーツ振興課長	伊藤 聡
文化財課長兼平福記念美術館長	富木 弘一
平福記念美術館参事	松橋 幸太郎

5 議事

(1) 議案審議

議案第16号 平成30年度仙北市一般会計補正予算の教育費について

(2) 報告事項

報告第22号 仙北市教育行政報告（平成30年第3回仙北市議会臨時会）について

報告第23号 仙北市教育行政報告（平成30年第4回仙北市議会定例会）について

報告第24号 仙北市総合型地域スポーツクラブ活動助成金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について

6 審議の経過及び結果

(熊谷教育長)

ただいまから、平成30年第7回仙北市教育委員会5月定例会を開催いたします。

それでは、当定例会の出席委員、職員を紹介いたします。

－出席委員、職員を紹介－

また、今定例会に新人職員研修として、教育総務課の丹野主査が傍聴いたします。

会議書記には村瀬課長補佐を任命いたします。また、議事録署名員は、私と委員からは、坂本委員を指名いたします。なお、前回会議録の承認については、会議終了後にお願いいたします。

(熊谷教育長)

第7回定例会の開会にあたりご挨拶を申し上げます。

初めに小中学校についてであります。これから、市内小学校の運動会が開催されますが、各校において、先生方が一生懸命、準備作業に取り組んでおります。また、中学校では、部活動の各種大会が行われており、先日、開催された大曲仙北中学校陸上競技大会では、各校選手の活躍が目立ちますが、その中で、角館中学校が女子準優勝という輝かしい成績を収めました。教育事務所長訪問や指導主事訪問も始まり、学習面でも大変頑張っておりますが、部活動においても力を入れて取り組んでおります。

次に、5月30日に開催されるチャレンジデー2018についてであります。現在、教育委員会では、事務所内に開催日までのカウントダウンを表示した横断幕を掲げ、担当部署となるスポーツ振興課を中心に職員が丸となって、企業や市内町内会長への協力要請等を行っている状況です。今年の特戦相手となる北海道幕別町は、スピードスケート選手の高木姉妹の出身地でもあることから、大変盛り上がりを見せているという情報を伺っております。仙北市でも、開催に向けて気運を高め、是非、特戦相手に勝利し、昨年に引き続き金メダルを獲得できるようオール教育委員会で頑張りたいと思います。

次に、5月27日に、恒例となるにしきのフラワーロード105一斉植栽が開催されます。担当部署の生涯学習課では、工夫を凝らし、盛り上げて行こうと準備作業を進めています。これもまた、オール教育委員会で取り組んで参りますので、日曜日の開催となりますが、皆様の参加及びご協力をお願いいたします。

最後に、本日の午後から、全州市町村教育委員会委員長、教育長会議が開催されますので、私と安部教育長職務代理者が出席いたします。その中で、「各市町村教育委員会における学校の多忙化解消の在り方について」をテーマとしてグループ別協議が行われます。これについては、初めてのテーマとなるわけですが、県や市町村教育委員会、各学校が「働き方改革」を推進するにあたり、県の動向等を伺い、学校における多忙化の現状やその課題等についての情報交換を行って参りたいと思います。また、学校のみならず、教育委員会事務局でも多忙を極めておりますので、管理職におかれましては適切なご配慮をお願いいたします。

(熊谷教育長)

次に、5月の事務報告をさせていただきます。

－資料により報告－

(熊谷教育長)

5月の事務報告に質問はありませんか。

(安部教育長職務代理者)

教育長のあいさつにもありましたが、学校の多忙化解消の在り方について、仙北市でもこの件についての会議が開催されたとお聞きしておりますが、会議名と協議内容について伺います。

(浦山教育次長)

5月21日の午後3時から、角館中学校において仙北市業務改善推進検討会を開催いたしました。会議の構成員は、校長代表2名、教頭代表2名、教諭代表2名、事務職員代表1名、養護教諭代表1名の計8名です。会議の中で、勤務時間等の管理等について適切にしていきたいということや、校務支援ソフト導入について、国からの働きかけがあるわけ

ですが、教育委員会として速やかに導入する方向で進めていきたいということ、最終退校時刻の設定およびノー残業デーについての話し合い等が行われました。

(安部教育長職務代理人)

会議の中で、最終退校時刻等の設定については、決定したのですか。

(浦山教育次長)

検討会での協議内容を6月に開催されます校長会に報告し、さらに検討していただきまして、その後に最終決定となる予定です。

(安部教育長職務代理人)

今日の午後からの会議でも、これをテーマとした話し合いが行われますので、仙北市の取り組み状況等をお伝えしたいと思っております。

また、現在の学校教育現場では、お互いの業務をスムーズに補完し合う個々の態勢や環境になっていないのではないかと思います。あるいは、最近の先生方には、一人の教諭に対して、パーフェクトを望まれているのではないかと、つまり、道徳教育でも、教科指導でも、特活指導でも完璧な先生であるべきだということを要求されているがために多忙化ということがあり得るのかと思います。一人で何でもやらなければならないと、当然疲れるし、期待をされるほど相談をすることや、知恵をお借りするという機会を失われていくのではないかと思います。こうしたことが、「多忙感」を増幅させているのではないのでしょうか。「多忙」ということは、「りっしんべん」に「なくす」、多くの心を亡くすということが、「多忙」に対する弊害の一つになるわけで、心を亡くした人が、きちんとした教育は出来にくいということで、そういうあたりのことを学校や教育委員会でも検討することが必要ではないのでしょうか。併せて、教育委員会職員の皆さんも同様で、たぶん皆さんは、「オール教育委員会」ということで、お互いに助け合い、仕事を分担してきちんと行っているとは思いますが、どうも現在の社会では、一人ひとりの責任が、あまりにも大きくなり過ぎて、自分で何でもやらなければならないという時代になっているので、もう少し、ゆとりをもって、誰にでも、得意、不得意の分野はあるわけですので、遠慮をせず、不得意の分野は助けてもらい、得意の分野は周囲に貢献するという環境づくりが必要ではないのでしょうか。

(熊谷教育長)

私も全くそのとおりだと思います。先生方においては、秋田県は、全国学力テストで全国一ということで、非常にそのプライドにこだわっているが故に大きな圧力を与えてしまっているのではないのでしょうか。

(熊谷教育長)

他に質問はありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

それでは、議事に入ります。

はじめに、議案第16号平成30年度仙北市一般会計補正予算の教育費について説明を求めます。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

議案第16号平成30年度仙北市一般会計補正予算の教育費について説明いたします。

なお、担当課(所)ごとに説明をさせていただきます。

－資料により説明－

(主な補正予算事項の説明要旨)

**【北浦教育文化研究所関係】**

- ・歳入、歳出で教育課程研究指定校委託事業に係わる所要額を補正計上している。

- ・秋田県教育委員会が生保内小学校を指定校（生活科）として実施される2か年の委託事業で、昨年度に続いて事業実施最終年度になる。（生保内小学校・三浦和義教諭が主担当で取り組んでいる事業となる。）
- ・県委託金の決定が5月となるため、当初予算に見込むことができず、当補正予算へ計上するものである。

（佐々木（勇）角館公民館長）

**【角館公民館関係】**

- ・4月の定期人事異動により、職員数が1名減員となったことに伴い、施設の維持管理、環境整備等を疎かにできないことから、臨時職員1名の雇用に係る所要額を補正計上している。

（伊藤スポーツ振興課長）

**【スポーツ振興課関係】**

- ・市民体育館管理運営費で、田沢市民体育館の外壁が屋根からの落雪により損傷したため、修繕料に係る所要額を計上している。今後、雪害の損害保険適用の認定を受けることになれば、歳入でも補正計上することになる。
- ・生保内公園運動施設管理運営費で、春の点検業務において指摘を受けた設備の老朽化による修繕箇所に係る所要額を補正計上している。

（富木文化財課長兼平福記念美術館長）

**【文化財課関係】**

- ・歳入で、県補助金（重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業費補助金、重要伝統的建造物群保存地区防災施設整備補助金）の内示を受けたことから、それぞれ補正計上している。
- ・歳出で、今年度から旧田沢湖郷土史料館の所管が財政課に移管されたことに伴い、消防設備保守点検委託料を減額補正するものである。
- ・重要文化財草薙家住宅管理費補助金で、草薙家住宅の一部棄損修理費増額に伴う補助金の補正増額を計上している。

**【平福記念美術館関係】**

- ・3月に発生した展示室屋根雨漏りに伴う、防水補修工事請負費に係る所要額を補正計上している。

（熊谷教育長）

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

－質問なし－

（熊谷教育長）

それでは、議案第16号平成30年度仙北市一般会計補正予算の教育費については、ご異議ありませんか。

－異議なし－

議案第16号平成30年度仙北市一般会計補正予算の教育費については、承認いたします。

（熊谷教育長）

次に報告事項に入ります。

はじめに、報告第22号仙北市教育行政報告（平成30年第3回仙北市議会臨時会）について説明をお願いいたします。

（戸澤教育部長）

報告第22号仙北市教育行政報告について、平成30年第3回仙北市議会臨時会において別紙のとおり教育行政報告をしたので報告するものであります。

－資料により説明－

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

－質問なし－

報告第22号仙北市教育行政報告（平成30年第3回仙北市議会臨時会）については、承認いたします。

(熊谷教育長)

次に、報告第23号仙北市教育行政報告（平成30年第4回仙北市議会定例会）について説明をお願いいたします。

(戸澤教育部長)

報告第23号仙北市教育行政報告について、平成30年第4回仙北市議会定例会において別紙のとおり報告するものであります。

－資料により説明－

また、資料にはありませんが、5月11日から13日まで、スイスでラート競技の世界選手権が開催されました。その大会で、角館町出身の高橋靖彦さんが、見事2大会振り3度目の男子個人総合優勝を収めましたので、この件につきましても教育行政報告に加えたかと考えております。

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

(安部教育長職務代理者)

ただいま説明いただいた教育行政報告とは関係ありませんが、文化財課に質問です。

このたび、田沢湖郷土史料館の展示物が田沢湖駅構内に移設になりました。私もオープニングセレモニーに出席をさせていただきましたが、このことについては、議会への報告についてと、また、広報に掲載されましたでしょうか。

(富木文化財課長兼平福記念美術館長)

市議会議員の皆さまへは、オープニングセレモニーにご案内をさせていただきました。また、広報には、セレモニーでのテープカットの画像と共に掲載いたしました。

(熊谷教育長)

ほかに質問はありませんか。

－質問なし－

報告第23号仙北市教育行政報告（平成30年第4回仙北市議会定例会）については、承認いたします。

(熊谷教育長)

次に、報告第24号仙北市総合型地域スポーツクラブ活動助成金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について説明をお願いいたします。

(伊藤スポーツ振興課長)

報告第24号仙北市総合型地域スポーツクラブ活動助成金交付要綱の一部を改正する要綱を別紙のとおり制定したので報告するものであります。

改正内容につきましては、第4条別表第2に掲げる各事業の助成率を「助成対象経費の総額の10分の9以内」を「助成対象経費の総額の10分の10以内」にそれぞれ改めるものであります。

これについては、独立行政法人日本スポーツ振興センター（toto）からの補助金をいただきながら、現在、神代スポーツクラブの活動助成を行っているものです。補助金の内訳は、totoが10分の9、仙北市が10分の1となっており、実際は助成対象経費総額の10分の10を交付していることから、平成29年度の決算に係る報告をした際にtotoからの指

摘を受けておりました。このようなことから、現行の交付要綱では現状に即しておらず、今後の運用上、支障をきたすこととなりますので、交付要綱の一部を改正するものであります。

－資料により説明－

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

－質問なし－

報告第24号仙北市総合型地域スポーツクラブ活動助成金交付要綱の一部を改正する要綱の制定については、承認いたします。

(熊谷教育長)

次に、その他の時間といたします。

仙北市総合体育館建設基本計画書について説明を求めます。

(伊藤スポーツ振興課長)

仙北市総合体育館建設基本計画書について説明をいたします。

(主な事項の説明要旨)

- ・総合体育館の建設については、仙北市総合計画にも掲げられており、仙北市総合体育館建設調査検討委員会から提出された仙北市総合体育館建設に関する提言書を基に作成している。
- ・仙北市体育施設マスタープランの基本計画に掲げられている市民のスポーツ振興に大きく寄与することのほか、災害時の防災拠点となる施設となることを当計画書でも基本計画として位置づけている。
- ・建設地を生保内地区にすることで、田沢湖高原温泉郷周辺及び田沢湖畔の宿泊施設を利用し、全国大会規模のスポーツ大会や文化大会など誘致にも好条件である。
- ・建設予定地は田沢湖生保内武蔵野中央地区の約3万㎡の市有地で、隣接する市民会館や東風の湯、また、県立スポーツセンターとの連携による多様な運用効果が期待できる。
- ・施設概要について、敷地（建設計画地）：約30,000㎡、構造：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、2階建て、規模、面積：延べ床面積6,675㎡（1階4,919㎡、2階1,755㎡）としているが、これについては、提言内容を全て受け入れた場合に想定される内容となっている。
- ・メインアリーナ、サブアリーナ（兼武道場）、多目的ルーム（トレーニングルーム）などをはじめ、2階にはランニングコース等を有し、日常的な練習等に十分な競技スペース、大会時にも対応できる観覧席、屋外駐車場を完備した施設とする。
- ・現在も続いている復興や東京オリンピックで工事費が上昇で推移し、延床面積が6,700㎡となる場合を想定すると、建設工事費は、税込40億円から45億円（消費税10%で想定）と試算される。これについては、施設概要と同様に提言内容を全て受け入れた場合（フルスペック）に想定される内容となっている。
- ・あくまで、提言書を基に作成した基本計画書となっている。今後は財政面でも懸念されることから、基本計画書を叩き台として、庁内の建設検討委員会、提言書をいただいた建設調査検討委員会及び関係団体と調査、検討をしながら、当計画が進める方向を導き出したいと考えている。

－資料により説明－

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

(橋本委員)

具体的なオープンの時期は決まっていますか。

(伊藤スポーツ振興課長)

この計画が実施するという状況になった場合、基本設計1年、実施設計1年、建設工事2年で約5年間のスパンで建設されることになり、財政面や要望内容を考慮しながら進めることになるので、いくら早くても平成36年度以降の建設になるのではないかと想定しています。

(安部教育長職務代理者)

収容最大人数は1万人となっていますが、例えば、バレーやバスケットのコート部分を除いての人数になるのですか。

(伊藤スポーツ振興課長)

イベント時、固定席のほかに、メインアリーナに仮設イスを設置することにより見込まれる最大収容人数となっています。したがって、スポーツ競技を行う場合は、メインアリーナへの仮設の観客席部分はどうしても制限されますので、現段階の規模でのプロバスケットボールの開催は厳しい状況です。

(熊谷教育長)

他に質問はありませんか。

－質問なし－

次に、いじめ・不登校対策についてお願いします。

(三浦北浦教育文化研究所長)

4月のいじめ、不登校の状況について報告いたします。

はじめに、いじめについては小学校6件、中学校3件の認知件数の報告がありました。

次に、4月の不登校についてですが、小学生1名、中学生9名、計10名となっております。

以上、4月のいじめ、不登校の状況です。

(熊谷委員長)

4月の報告事案について、質問はありませんか。

－質問なし－

(熊谷委員長)

次に教育委員会定例会会議録のホームページ公開について説明をお願いします。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

平成30年第5回仙北市教育委員会定例会会議録のホームページ公開についてです。

ページに沿ってご説明いたします。

－資料により説明－

誤字や脱字、お気付きの箇所等ございましたらご連絡くださるようお願いいたします。

(熊谷教育長)

お気づきの箇所等がありましたら、浅利次長へ連絡してください。

(浦山教育次長)

学校適正配置に係わる住民意見交換会、保護者意見交換会を6月26日から開催いたします。当初、広報6月1日号で周知をすることとしていましたが、事情により、6月15日号に掲載し市民に周知をいたします。また、当該地区には、広報にチラシも折り込み意見交換会開催の周知を図ることとしています。

他にありませんか。

(熊谷教育長)

それでは、以上で平成30年第7回仙北市教育委員会5月定例会を閉会いたします。

(閉会宣言：午前10時20分)